

6/17
(金)

平尾中でオンライン交流 ICTで将来につなげる

6月17日、平尾中学校(松久保謙太郎校長・39人)でオンライン交流授業がありました。

同校はICT(情報通信技術)活用推進校で、昨年度からさまざまな授業でICTを活用することで、生徒たちの将来につながることを図っています。

当日は英語の授業で、同校3年生17人とオーストラリア在住の特別支援学校7人がオンラインで交流。自己紹介や住んでいる町の紹介、好きな食べ物やスポーツ、アニメなどを英語で話しました。

増田恭太さんは「同世代の人と英語で話すことが

できて楽しかった。ただ話すだけではなく、オンラインで一緒に何かできたら」と述べました。



オンラインで交流する生徒たち

6/23
(木)

長島中で引き渡し訓練 緊急時を想定して



引き渡し訓練の様子

6月23日、長島中学校(石垣健二校長・88人)で引き渡し訓練がありました。

この訓練は、風水害などの災害時や不審者が校内に侵入したなどの緊急時に、生徒のみの下校では危険が伴う場合を想定して行われました。

全校生徒は体育館に待機。保護者が校庭まで車で迎えに来ると、職員が確認し、生徒に呼び掛け引き渡していました。

石垣校長は「近年は大雨や台風などの被害が大きい。いつ緊急時になっても保護者と学校がスムーズに連携が取れるような体制を心掛けたい」と話しました。

6/26
(日)

チアダンス合同練習を開催 高め合うきっかけに

6月26日、長島町チアダンススポーツ少年団と世界大会に出場経験のあるチアダンスチーム「CAST MAGIC」(鹿児島市)が総合町民体育館で合同練習を行いました。

当日は小学1年生から高校2年生までの24人が参加。ストレッチ方法や技の練習、ダンスレッスンを行いました。

子どもたちは最初、緊張した様子でしたが、練習するうちに仲良くなり、笑顔で交流しました。教室の最後には練習したダンスを披露し、保護者らを魅了しました。

練習したダンスを一緒に踊る子どもたち



同少年団の宮瀬^{あき}愛生キャプテンは「いろんな人と交流できて楽しかった。もっとチアダンスを頑張りたいと思えるきっかけになった」と話しました。